

令和6年度岡山県医療的ケア児等コーディネーター・支援者養成研修 日程表

【区分Ⅰ コーディネーター向け】

日数	時間(分)	項目	内容	獲得目標	講師	
1日目 (11/6)	9:00~9:15	15	概要説明	研修の概要(目的、期待する成果等)を説明	研修のイメージをつかむ	
	9:15~10:15	60	総論	コーディネーターのあり方、役割等 アドボカシー、エンパワメントの視点 多職種との連携、ネットワーク作り、資源の開発等 地域における子どもの発達と支援 医ケア児支援法 医ケア児コーディネーターに求められるもの等	医療的ケア児等コーディネーターとして、どうあるべきか、視点、地域連携、資源の開発の方法などを理解する。	社会福祉法人 旭川荘 名誉理事長 末光 茂 氏
	10:25~11:55	90	重症心身障害医学総論、地域の医療連携など	重症心身障害医療の特徴、代表的な疾患の経過・特性、地域の医療資源、医療連携の概略等、日常生活における支援(感染対策) 母子保健	重症心身障害の特徴、各疾患によるライフステージやそこに必要な医療的な支援をイメージする、地域の医療的な現状を把握する。	旭川荘療育・医療センター 顧問医師 片山 雅博 氏
	12:40~13:40	60	医療的ケアの実際	医療的ケア児等に必要な具体的な医療的ケア	医療的ケアの具体的なイメージを持つ。それが当事者や家族にどのようなメリット・デメリットがあるか知る。	旭川荘療育・医療センター 顧問医師 片山 雅博 氏
	13:40~14:10	30	医療的ケア児の口腔衛生について	重症心身障害児(者)・医療的ケア児の口腔衛生、訪問歯科診療について	重症心身障害児(者)、医療的ケア児の口腔衛生の重要性について、在宅支援に関わっている支援者が理解する。	一般社団法人 岡山県歯科医師会 理事 土肥 範勝 氏
	14:15~15:15	60	福祉・福祉資源	重症心身障害児(者)の計画相談に必要な福祉制度・福祉資源、特にその地域特有の制度など。	計画相談に必要な福祉制度・資源(地域特有の制度、資源の状況)を把握し、活用ができる。	旭川児童院 地域療育センター 所長 村下 志保子 氏
	15:15~16:15	60	教育・就労	学校教育、特別支援教育とは(個々の子どもに対してどれだけ自立を支えるものであるか)と言う点を理解したうえで、医療・福祉・教育の三方から子ども(家庭)を支えるような体制を学ぶ。また、高等部卒業後の就労支援体制について学ぶ。	計画相談に必要な教育・就労支援を把握し、活用ができる。	旭川児童院 顧問 小延 祥夫 氏
	16:15~17:15	60	医療・福祉・教育の連携(チーム作り)	地域の中で、どのような医療・福祉・教育の資源が存在し、連携をどう構築していくか。医療、保健、福祉、教育労働の連携。地域資源開拓・創出の方法(資源把握、市町村・都道府県との連携)	地域の中で、どのような医療・福祉・教育の資源が存在し、連携はどうなっているか、また今後どのように連携を構築(チーム作り)をしていくかを知る。	旭川児童院 地域療育センター 副所長 本田 順子 氏
2日目 (11/7)	9:00~12:00	180	在宅支援関連施設の理解 地域支援体制	在宅支援診療所等 医療機関 訪問看護の仕組みと実際の活動 多機能型児童発達支援 生活介護 児童発達支援・居宅訪問型児童発達支援	重症心身障害児(者)の在宅支援に関わっている事業所や施設の実態を把握し、連携できる。	つばきクリニック 医師 中川 ふみ 氏 岡山訪問看護ステーション看護協会 所長 佐山 純子 氏 すくすくyell 管理者 土山 久美香 氏 デイセンターなすな 赤磐 管理者 小林 三重子 氏 くわのみどりの家 所長 福田 玲子 氏
	13:00~14:00	60	本人・家族の思い、ニーズ、QOL	当事者の思い、ニーズ、また本人・家族のQOLをどのようにとらえるか。	当事者の思い、ニーズを知り、理解を深め、より当事者の意向に沿った計画作成ができる。	岡山県重症児を守る会 副会長 宮木 悦子 氏
	14:00~15:00	60	家族支援・兄弟児支援 虐待防止	家族支援、兄弟児支援と虐待防止対策について学ぶ。	家族・兄弟の思い、ニーズを知り、理解を深める。虐待防止について学ぶ。	旭川児童院 支援部 部長 小豆 忠博 氏
	15:00~16:00	60	重症心身障害児(者)の 意思決定支援	重症心身障害児(者)のコミュニケーションの特徴、意思伝達装置について どのように意思決定支援を行うか。	重症心身障害児(者)のコミュニケーションの特徴を知り、意思決定支援をどのように行うかを学ぶことにより、当事者の意思にできるだけ沿った計画相談ができる。	旭川児童院 支援部 支援顧問 石井 貞江 氏
	16:00~17:00	60	ライフステージにおける 支援の要点	NICUからの移行や、学童期、成人期それぞれの支援の要点 移行期における支援 医ケアの必要性が高い子どもへの支援	NICUからの移行や、学童期、成人期それぞれの支援の要点を理解し、適切な計画作成ができる。	旭川荘療育・医療センター 看護顧問 義村 禮子 氏
	17:00~17:10	10	事務連絡	3日目・4日目の演習について		
3日目 (11/26)	9:00~17:00	420	演習 計画作成	演習に向けての作成ポイント、事例をもとにした計画作成の演習。実際自分たちで計画を作成。また模擬担当者会議により、当事者の意向を反映し、また支援者間の調整を行う。	総論やこれまでの講義を元に、特に重症心身障害児(者)の計画作成に重要なポイントを意識し、事例に基づいて計画作成ができる。	旭川児童院 他 ファシリテーター 7名
4日目 (11/27)	9:00~17:00	420	演習 事例検討	事例をもとに、意見交換・スーパーバイザーによる計画作成の指導を行う。	事例をもとに、ニーズの把握、当事者の意向に沿った計画作成、関係機関との調整などができる。	旭川児童院 他 ファシリテーター 7名
	17:00~17:10	10	事務連絡	修了証交付など		
合計		【講義】 840 【演習】 840				

※ 講師の都合等で日程が変更になる場合があります。